

二宮町まちづくり評価委員会

3. 交通環境と防災対策の向上

①各委員からの意見

- ・二宮駅北口はだいぶ良くなったと思う。
- ・観光客が増えたが、通行量が多く危なく見える。
- ・商店街を活性化する必要がある。
- ・駅において町全体のわかりやすさを示すことは必要で、ユニバーサルデザインが重要となる。
- ・外国人にとってはコンパクトに観光できる海と簡単に登れる山がある二宮はニーズがあり、多くの外国人観光客が来ている。
- ・駅周辺にはひと、もの、カネ、ことが必要であり、お金を落とす仕組みを作ることが必要で、現状は、素材があってもこと（事）が少ない。
- ・公共交通は百合が丘、富士見が丘など山の上の地区は問題がある。
- ・買物も介護予防のひとつで、自分で選ぶことができないと予防はできない。買物で交流、バス停で交流、頻繁でなくとも交流をするためには外出しやすい環境づくりが必要。
- ・公共交通に頼るとアクティビティが落ちる。
- ・防災対策の向上については、二宮町の地域性に合った防災計画が必要であり、住民自身の参加と意識向上のため、各自治会における取り組みと、自治会同士の連携などへの支援が必要。

②まちづくり評価委員会としての意見

評価指標	
------	--

交通環境と防災対策の向上として政策を引き続き進めるということは必要と考える。

北口駅前について、広場が広くなり、利便性は向上したが、通行量が増加した。外国人を含む観光客をスムーズに移動させるためには、町全体のわかりやすさを示すことが必要であり、ユニバーサルデザインが重要となる。

また、駅周辺にはひと、もの、カネ、こと（事）が必要であり、商店街の活性化にはお金を落とす仕組みづくりが重要になるが、現状は、素材があってもこと（事）が少ない。

交通環境においては、百合が丘や富士見が丘など坂道が多い地区では公共交通に支障がある。外出しやすい環境づくりは、介護予防の視点からも必要であり、その一つが買物で、自分で選ぶことができないと予防にならない。自分自身で出かけることで、交流が生まれることから外出しやすい環境づくりが必要と考える。

防災対策の向上においては、町の地域性にあった防災計画が重要であり、取り組んできた計画の実効性の有無を再確認するシステムが必要と考える。また、住民自身の防災に対する意識向上をどのように高めていくかが重要となるため、各自治会における取り組みと、自治会同士の連携に対する支援が重要と考える。

観光や買い物など外出しやすい環境が整うことによって、駅周辺を含めた交流拠点が活性化し、情報の交流も行うことができる。住民同士のつながりを強く結ぶことで交通環境と防災対策の向上に繋がると考える。